

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-3 国際化と多文化共生の推進
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課長 坂本 偉健	電話番号	0852-22-6006
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	外国青年招致事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	国際的な相互理解を進める	
事業概要	姉妹・交流関係を結ぶ海外自治体等（中国2名・韓国・ロシア・英語圏各1名）からJETプログラムにて国際交流員を受け入れ、通訳翻訳業務や、学校や地域への訪問を通じ、各国との相互理解を図ることで、多文化共生につなげる。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		5.00	5.00	5.00	
式・定義	県民との交流を進める国際交流員の人数の最低数	実績値	5.00	5.00	5.00	5.00		人
		達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	24,170	23,525
うち一般財源(千円)	24,170	23,525

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

26年度については中日友好協会からの派遣が見送られたが、友好交流先からの派遣により、予定どおり5名を受け入れた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

小中学校や公民館からの要請により、訪問活動を行っており、実際に出かけた先においては、理解が進んだとの評価をいただいている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

国際交流員の認知度をさらに高めることが必要。
また、庁内施策や県民ニーズや在住外国人への対応によっては、交流員以外の国など広範囲に対応する必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」

広報活動に
県民の交際交流自体に関する関心や関心を持つ対象国、在住外国人の国籍が多様化していること。

③原因を解消するための「課題」

国際交流員の認知度向上にあたっては、メディアや行政の発行するの機関誌等媒体を通じて広報する。
考え方の多様化については、しまね国際センター等とも連携しながら対応していく。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

地理的歴史的な経緯から提携に至った姉妹・友好交流関係との強化、相互理解を継続して図っていくため、現在の対象国は維持していく。
また、通訳や翻訳業務、自国の文化や歴史紹介とうのスキルアップを図るとともに、日本や島根の文化や歴史も学んでもらい、帰国してからもパイプ役として育成していく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）